

## 「日本写真学会誌」 解説等 執筆の手引き

(社) 日本写真学会編集委員会  
2010 (平成 22) 年 11 月 17 日制定  
2012 (平成 24) 年 4 月 17 日改訂  
2014 (平成 26) 年 1 月 14 日改訂  
2016 (平成 28) 年 2 月 23 日改訂  
2019 (平成 31) 年 2 月 6 日改訂

### I 日本写真学会誌について

日本写真学会誌 (以下, 本誌) は, 写真および画像に関する論文や記事などを掲載し, 会員に必要かつ有益な情報を提供するために, 年 4 回発行しています。

上記記事のうち, 解説, 講座, 報告, 資料, 案内等の記事は, 編集委員会からの依頼により執筆されます。以下に解説等を執筆するにあたっての手引きを示します。

### II 原稿の体裁

#### 1. 用紙と書式

A4 判縦置き横書きで, 余白は 3cm 程度, ワードプロセッサにより作成してください。和文原稿は 1 行 27 字で 100 行が刷り上がり 1 ページとなります。刷り上がりと同じ体裁にレイアウトする必要はありません。

#### 2. 構成

原稿はつぎの順に配列してください。

表紙, 要旨, キーワード, 本文, 謝辞, 参考文献, 脚注, 図表の説明, 表, 図

##### 1) 表紙

まず日本語で, 題目, 著者名, 所属, 所在地を, 行間をあけて書いてください。

次に英語で, 題目, 著者名, 所属, 所在地を, 行間をあけて書いてください。著者名はフルネームで, Taro YAMADA のように姓を大文字で書いてください。

執筆時の著者の所属が現在と異なるときは, 現在の所属を脚注に書いてください。

##### 2) 要旨

和文および英文, 両方の要旨を付けてください。

##### 3) キーワード

和文および英文要旨に続いて, それぞれにキーワードを付けてください。原則として 5 個以内で, 日本語ではすべてで 40 字, 英語では 20 語以内です。

##### 4) 本文

1. 章立てする場合は, 1., 1.1, 1.2.1 のようにして, 番号付けしてください。

##### 3. 図, 写真, 表

1) 図, 写真の説明文は, 本文や, 図, 写真とは別の用紙に番号順に書いてください。

2) 表は個別に作成し, 表番号と説明文を上部中央に書いてください。

- 3) 図, 写真, 表の挿入箇所を, 原稿右側余白等に“Fig. 1 挿入”のように記入して下さい.
- 4) 図・写真・表ともに, デジタルデータを一緒に提出していただきます. 汎用的なデータフォーマット (tif, jpg, bmp, eps など) を用い, 階調のビット数, 画像の大きさ, 圧縮, などに十分に注意し, 1 葉ずつ個別ファイルにして, 電子ファイルで提出してください.
- 5) カラーの写真や図版の印刷では, カラー原稿作成費用がかかりますので, その一部負担をお願いしています. 詳細は編集委員長にご相談ください.

#### 4. 脚注

脚注をつける本文の字句の右肩に, \*, \*\*, \*\*\*の記号を上付き文字でつけてください.

脚注の文章は, 別紙に行間を空けて書いてください. 該当ページの最下段に印刷されます.

#### 5. 引用文献

##### 1) 文献引用の表わし方

文献を引用するときには, 該当箇所の右肩に通し番号を<sup>1)</sup> <sup>2)</sup>…のように上付き文字で記し, 文献名は別の原稿用紙に一括して番号順に列記してください.

##### 2) 引用文献の書き方

雑誌は, 引用番号, 著者名, 誌名, 巻, ページ, 発行年の順に並べ, 巻数はゴシック文字または下線でゴシック指定します. 発行年は ( ) でくくってください. 読者の助けになると思われる場合, 題名を記入してもかまいません. その場合には, 著者名の次に“ ”で囲って記入してください. 誌名は, 和文誌は正式名で, 欧文誌は **Chemical Abstracts** 等に従って略記し, 略名が一般的でなければ, 正式名で書いてください.

##### 【例】

##### 1) M. A. Kriss, J. Soc. Photogr. Sci. Tech. Jpn., 59, 186 (1996).

著者名と誌名が英文でも表記されている和文誌の文献の場合, できれば英文の著者名と誌名を併記してください. (J-STAGE の電子ジャーナルで引用文献が表示される際, 英文のページでは和文誌の文献に対して英文表記の著者名と誌名のみが表示されます. 和文で表記されているものは表示されません)

##### 【例】

##### 1) 細井一邦, 平野昭裕, 日本写真学会誌, 62, 269 (1999).

英文と和文が混在している雑誌の場合, 対象文献の本文が英文であれば, 著者名, 誌名も英文でのみ表記してください. 本文が和文の場合, 上記の書き方によります.

単行本は, 引用番号, 著者名, 書名, 版数, 編者, 出版社, 出版地, 出版年, ページ (章) の順に並べ, 便覧などで担当執筆者が不明の場合は, 編者を引用番号のすぐあとに書いてください. 書名は“ ”で囲みます.

##### 【例】

##### 1) 日本写真学会編, “改訂 写真工学の基礎 (銀塩写真編)”, コロナ社, 東京, 1998, p.100.

##### 2) J. H. Hamilton, “The Theory of the Photographic Process”, 4th ed., by T. H. James,

Macmillan, New York, 1977, p. 108.

## 6. 数式および化学式の表記法

### 1) 数式

#### 文中の数式

$a/b$ ,  $\exp(\Delta E/RT)$  のように表記し, 二重添え字や  $e$  の肩にのる字などは避けてください。ただし, 理解を混乱させる恐れがあれば, この限りではありません。

#### 独立した数式

本文中に上下に 1 行程度の空きスペースをとって明瞭に書き, 連続した式番号を付けます。長大な数式で誤認の恐れがあれば, 本文には上下に 1 行程度のスペースをとって「別紙, 数式 (番号)」と書き, 別紙に式番号とともに書いてください。

### 2) 化学式, および化合物名

#### 化合物の命名

本文では原則として, 化学式ではなく IUPAC 命名法に従った化合物名で表記してください (ただし, 混同の恐れがあれば, この限りではありません)。日本語表記でも簡単で一般性が高ければかまいませんが, 学術用語集に準拠してください。英語の慣用名は, **Chemical Abstracts** に準拠してください。

#### 化合物の略記号

化合物に略記号を用いる場合は, 本文の初出個所で, 正式な化合物名に対応させてください。

#### **【例】**

1- フェニル -5- メルカプトテトラゾール (以下 PMT と略記)。あるいは (以下化合物 (I) とする) など。

#### 独立した化学式

反応式, 構造式等の化学式は, 本文中に上下に 1 行程度のスペースをとって明瞭に書き, 連続番号を付けます。長大で誤認の恐れがある式は, 本文には上下に 1 行程度のスペースをとって「別紙, 化学式 (番号)」と書き, 別紙に式番号とともに書いてください。

### 3) 原稿の印刷

ワープロの数式・化学式エディターを使用する場合は, 印刷所の組版ソフトで読み取れないことがありますので, 正確に印刷した原稿を付してください。

## 7. 別刷料金

解説・講座等の依頼原稿執筆者は, 掲載誌 1 部と, 掲載ページの pdf ファイルを受け取ることができます。さらに, 別刷が必要なときは別表 2 の料金で購入できます。